

ようこそ 鞆の浦学園ホームページへ

広島県東部に位置する福山市鞆町は、いにしえより潮待ちの港として栄えました。潮待ちとは、瀬戸内海の潮の分かれ目となる鞆の港で、潮の流れが変わるのを待つことを言いますが、多くの船が集まり、鞆の港は活気に満ちていたそうです。

歴史と文化に培われた鞆の町に、2年前、福山市初の義務教育学校「鞆の浦学園」が開校しました。校舎は高台にあり、瀬戸内海国立公園の美しい景色（仙酔島をはじめ瀬戸内の島々）や四国を眺めることができます。

地域の人・物・事を通して、子ども達の探究心を育む「鞆学」は、「福山ブランド」に認定・登録いただきました。これに満足することなく、今を超えていくあくなき姿勢を貫いていきます。

開校3年目、保護者や地域の温かいご支援を常に感じながら、小中一貫教育の良さ、義務教育学校の良さを最大限に生み出し、「探究」の世界にどっぷりつかった子どもと教職員の輝く姿を追い求めます。

「いのち、輝く！ No Child Left Behind!」

～ 一人一人が自分らしく、

すべての場面でいのちを輝かせる児童・生徒&教職員 ～

すべての子どもが自分らしく、力いっぱい花を咲かせること

そして、それを支える教職員も、一丸となり、全精力を注ぐ
自分らしく生きる時、人は自然に輝く

そこには、打算も、優劣も、勝ち負けもない

互いに認め合い、学び合い、感謝し合う心が人を育てる

こうした土台があつてこそ、一人も残さず、すべての命が輝く
人は、生まれてきただけで価値がある

与えられた命を、すべての場面を通して、精魂込めて、耕し続ける
それが、教育の使命だと考える

2021年（令和3年）4月

福山市立鞆の浦学園校長 宇根一成